

東つ子

たのしみが
ゆきわたる
東小学校

あいさつは勇氣

師走も二十日が過ぎ、今年もあと十日ほどを残すのみとなりました。

四月に始まった平成二十五年度も、九ヶ月が経ちました。が、学校生活、家庭生活を重ねる中で、どの子どもも一段とたくましく成長してきているようで、とてもうれしく思っています。

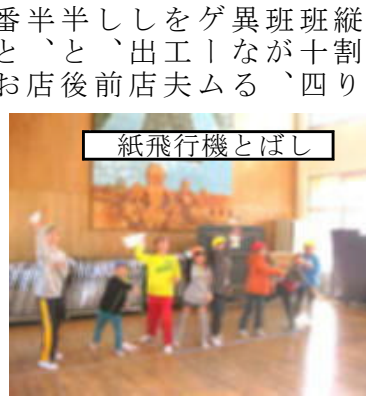
さて、本校では、豊かな心の育成の一環として、礼儀正しい行動に重点を置いた指導を積み重ねていきます。特に「あいさつ」は、相手への思いやりや感謝の気持ちを表すものとなる大切なものだと考えています。し、何より、相手の顔を見て元気がよくあいさつするに、勇氣が必要で、その勇氣を、子どもたちみんなにもってほしいと強く願っています。

先日実施した学校評価アンケートでは、保護者の皆様から貴重なご意見をたくさんいただきました。その中に、「東小学校の子どもたちが以前よりも挨拶をしないようになった」というご意見もいただきました。学校の取組を再度見直し

て、「あいさつ溢れる学校づくり」を指して一層尽力して参ります。どうぞ、皆様のご支援をお願いいたします。

秋祭り集会より

十一月二十七日(水)の2、3校時に、児童会による「秋祭り集会」を行いました。



紙飛行機とぼし

縦割り班が、異なるゲームを工夫し、出店し、前半と後半、店番とお客に分かれて、秋祭りを楽しみました。



リアル爆弾

くくなりました。上級生は下級生のお世話をする事で多くを学び、一方、下級生は上級生をみて憧れ慕う、そういう繰り返しの場となっているのです。実は、こういう場は、学校にはいっぱいあります。毎日の登校班、委員会やクラブ活動などです。

ボランティア精神

五・六年生の家庭科で、ミシンを使って物を作るという学習があります。五年生はナップサック、六年生はエプロンです。

ご家庭でもミシンを使う機会は非常に少なくなってきました。昨今、一度に三十人以上に、ミシンを教えるのはなかなか大変です。本校では、保護者様へ呼びかけて、数年前から家庭科の調理とミシンの実習の際に、学習支援ボランティアとしてご支援をお願いしています。



各クラスにそれぞれ2時間ずつ計8時間、六名の保護者がボランティアとして、アトの手取り一人取り一人取り一人を教えだきました。皆さ、んから、は、子どもたちが素直に注意を聞き入れてくれた。集中して取り組んでいた。」「教えていて自分も楽しかった。」「など好意的な感想もいただきました。ありがとうございます。また、十二月六日(金)には、三年生の「お年寄りへのふれあい集会」に、地域から八名ものお年寄りの方々がお出でいただき、昔の遊びなどを教えてくれたり一緒に遊んでくれたりした。そのほかにも、毎日、子

風邪の予防を

冬の登下校を見守っていただいたり、学校周辺の落ち葉を掃いていただいたりなど、様々な形でご支援・ご協力をいただいています。学校は、地域の大勢の方々に支えられています。ことを痛感しています。そして、子どもたちは、回りの人々から多くのことを学んでいるのだと改めて思うのです。

寒い日が続いています。まさに冬本番が迫っているという思いです。

この時期、心配になるのが集団風邪や胃腸炎などの感染症です。今のところインフルエンザ流行という報道はほとんどありませんが、一方、ノロウイルスの集団感染は県内においても発生していますので、十分気を付ける必要があります。

本校でも、風邪を引いて休む子が増えてきています。先月末の保健だよりでお知らせしていますが、風邪予防のため、うがいや手洗いの励行を学校でも一層呼びかけていきます。ご家庭でも取り組みをお願いします。もし、風邪などにかかった時は、何より休養が肝心です。無理をしない、させないで、早め早めの対策を心掛けましょう。